

# 2006-2007年度 構造委員会活動報告

委員長：和田 章

幹事：緑川光正、福和伸夫、倉本 洋

構造委員会は、建築構造に関する調査・研究、規準・指針等の作成ならびに改定、講習会・シンポジウム等成果の普及、委託研究の受託、建議などを行うことを目的に設置された。

# 運営委員会(1/2)

1. 応用力学運営委員会
2. 荷重運営委員会
3. 基礎構造運営委員会
4. 木質構造運営委員会
5. 鋼構造運営委員会
6. 鉄筋コンクリート構造運営委員会

# 運営委員会(2/2)

7. プレストレストコンクリート構造運営委員会
8. 鋼コンクリート合成構造運営委員会
9. シェル・空間構造運営委員会
10. 振動運営委員会
11. 仮設構造運営委員会
12. 壁式構造運営委員会

# 小委員会(本委員会直属)

- 1) 構造工学論文集編集小委員会(山田聖史)
- 2) 煙突構造小委員会(主査:山田大彦)
- 3) 容器構造小委員会(主査:内藤幸雄)
- 4) 原子力建築小委員会(主査:瀧口克己)

# WG（本委員会直属）

- 1) 構造技術者向け継続教育WG(和田 章)
- 2) 構造関係規準・指針の将来検討WG(緑川光正)
- 3) 高機能社会耐震工学WG(中島正愛)

# 新刊書籍など

1. アクティブ・セミアクティブ振動制御技術の現状
2. 木質構造設計規準・同解説 ―許容応力度・許容耐力設計法―
3. 建築基礎のための地盤改良設計指針案
4. 煙突構造設計指針
5. 小規模建築物基礎設計指針
6. 地震荷重―性能設計への展望―
7. 鋼構造耐火設計指針
8. シェル・空間構造の減衰と応答制御
9. コンクリート系構造の部材解析モデルの開発と応用
10. 建築物荷重指針(英語版){HP}

# 成果一覽

|            |      |          |        |
|------------|------|----------|--------|
| 【出版物】..... | 出版点数 | 9        |        |
| 【講習会】..... | 講習会数 | 7        | 会場数 16 |
| 【催し物】..... | 催し物数 | 27(15会場) |        |
| 【大会研究集会】   | PD   | 22       |        |

## まとめ(1/2)

耐震設計の偽装問題(2005年11月)に端を発し建築基準法が改正施行(2008年6月)され、我が国の構造設計にかかわる仕事にも影響が出ているが、構造委員会の活動は、純粹な力学分野から実務的な設計指針の出版まで広い領域を扱い、着実に進められている。ただ、この活動が社会に与える影響の大きさを考えると、たとえば規準・指針の編集方針に一貫性がないことが問題であった。これについて約3年をかけて、構造関係規準・指針の将来について検討し報告書をまとめた。

## まとめ(2/2)

建築の仕事が国際化するなか、構造委員会が中心となってまとめている各種の設計規準・指針が海外にも使われるような活動も必要である。今まで、新築建物を中心にしていて、既存建築への対応が薄かったことを配慮し、災害委員会と共同で2007年度日本建築学会技術部門設計競技「既存建築物の耐震改修デザイン」を実施し、71件の応募がありその作品集の発行も行った。